

原 著

朝日大学 PDI 岐阜歯科診療所における初診患者の動向

岩 崎 ひとみ¹⁾ 真喜屋 建¹⁾ 大 森 俊 和¹⁾ 松 岡 なつき²⁾
川 口 真美賀²⁾ 浦 田 裕 介²⁾ 浅 原 忠 雄²⁾ 福 井 達 真¹⁾
菊 池 隆¹⁾ 多 田 幸 恵¹⁾ 古 澤 学¹⁾ 森 美府由¹⁾
羽 柴 元 裕¹⁾ 松 井 孝 介¹⁾ 小 川 雅 之¹⁾ 柴 田 俊 一¹⁾
藤 原 周¹⁾

Trends of First Visit Patients at Asahi University PDI Dental Clinic at Gifu

IWASAKI HITOMI¹⁾, MAKIYA KEN¹⁾, OMORI TOSHIKAZU¹⁾, MATSUOKA NATSUKI²⁾, KAWAGUCHI MAMIKA²⁾,
URATA YUSUKE²⁾, ASAHARA TADAO²⁾, FUKUI TATSUMASA¹⁾, KIKUCHI TAKASHI¹⁾, TADA YUKIE¹⁾,
FURUSAWA MANABU¹⁾, MORI MIFUYU¹⁾, HASHIBA MOTOHIRO¹⁾, MATSUI KOUSUKE¹⁾, OGAWA MASAYUKI¹⁾,
SHIBATA SHUNICHI¹⁾ and FUJIWARA SHUU¹⁾

朝日大学 PDI 岐阜歯科診療所の現状と問題点を抽出し、その改善点を検討することを目的として、2005年度2006年度における初診患者の動向について主な項目の検討を行った。その結果、以下の結論を得た。

1. 月別初診患者数は、ほぼ一定であった。
2. 初診患者の年齢分布は20~60歳代が多かった。
3. 本院が所在する岐阜市周辺の来院が多くみられるが、他県からの来院もあった。
4. 硬組織疾患を主訴とする割合が最も多く53%みられた。
5. 主訴に対する治療期間は3か月でほぼ完了していた。

キーワード：初診患者，2005年度，2006年度，疼痛の有無

The purpose of this study was clarify the trend of first visit patients of PDI Dental Clinic at Gifu in 2005 and 2006.

The results obtained were as follows;

1. *The number of first visit patients by the month was approximately constant.*
2. *The age distribution of first visit patients of PDI Dental Clinic at Gifu were 60's from 20's.*
3. *Many first visit patients lived around Gifu City and some of them visited from suburban towns.*
4. *Most main complaint was dental hard tissue disease and the ratio were 53%.*
5. *The duration of treatments for each main complaint was about three months.*

Key words: first visit patients, 2005, 2006, having pain or not

緒 言

朝日大学 PDI 岐阜歯科診療所は、学校法人朝日大

学附属の卒直後研修の教育機関で1979年12月から岐阜歯科大学歯科臨床研究所附属歯科診療所の名称で岐阜市において診療を開始した。診療フロアは3階にわ

¹⁾朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野
501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

²⁾朝日大学 PDI 岐阜歯科診療所
500-8309 岐阜県岐阜市都通 5-15

¹⁾Department of Prosthodontics, Division of Oral Functional Science and Rehabilitation

Asahi University School of Dentistry
Hozumi 1851, Mizuho, Gifu 501-0296, Japan

²⁾Asahi University PDI Dental Clinic at Gifu
Miyakodoori 5-15, Gifu, Gifu 500-8309, Japan
(平成23年8月24日受理)

かれており、診療ユニットは24台（2階：個室診療室6ユニット，オープン診療室2ユニット，3階：個室診療室8ユニット，オープン診療室2ユニット，4階：オープン診療室6ユニット）である。診療は一般歯科に加え小児歯科，矯正歯科を標榜している。本学附属病院における患者の実態調査は過去に一部報告されているが^{1,2)}，本診療所の来院患者の調査は約10年行われていない³⁾。そこで今回我々は，2005年度2006年度の朝日大学PDI岐阜歯科診療所における初診患者の特徴の調査を行った。

調査対象および調査項目

調査対象は，2005年4月1日から2007年3月31日の2年間に朝日大学PDI岐阜歯科診療所を受診した初診患者（2005年度1056人，2006年度992人，合計2048人）である。

調査項目は，診療録及び問診表をもとに，患者数，初診日，住所，年齢，性別，来院時の疼痛の有無，全身疾患の有無，治療経過について行った。なお，朝日大学PDI岐阜歯科診療所の初診受付時間は，9：00-12：00および13：30-16：00であり，土曜日は午前（9：00-12：00）のみである。休診日は，日曜日および祝祭日である。なお，本調査は朝日大学倫理委員会の承認を得て実施した。（承認番号17025）

結 果

1) 月別の初診患者数

朝日大学PDI岐阜歯科診療所の2002年度から2006年度までの5年間の月毎の初診患者数の変動を示す（図1）。初診患者数は，2002年度970人，2003年度1022人，2004年度1000人，2005年度1056人，2006年度992人であった。月別の初診患者数の推移はほぼ一定して80人前後を示した。初診患者数は8月をピークに1月および2月までは減少する傾向がある。2005年度では3月に2006年度には8月に来院数が増加し，学休期中には小児の来院数の増加がみられた。

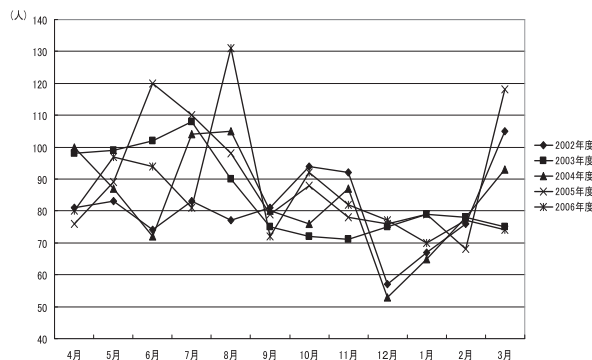


図1 初診患者の推移

2) 年齢分布

2005年度と2006年度初診来院患者の年齢分布を示す（表1，図2，3）。各年齢層で大きな人数差はみられなかった。年齢階級別に初診患者の男女の比率には2005年度2006年度とも有意差はなかった。

3) 地域分布

地域分布では，2005年度，2006年度ともに，朝日大学PDI岐阜歯科診療所のある岐阜市からの初診患者

表1 初診患者の年齢分布

	2005年度						2006年度					
	男 (%)	女 (%)	合計 (%)	男 (人)	女 (人)	合計 (人)	男 (%)	女 (%)	合計 (%)	男 (人)	女 (人)	合計 (人)
0~9	11.8	7.9	9.65	56	46	102	10.1	7.7	8.8	45	42	87
10~19	10.8	6.7	8.5	51	39	90	6.3	0.2	6.3	28	34	62
20~29	12.9	16.8	15.1	61	98	159	11.7	15.5	13.8	52	85	137
30~39	12.3	13.9	13.2	58	81	139	16.9	17.7	17.3	75	97	172
40~49	12.5	11.8	12.1	59	69	128	13	12.1	12.5	58	66	124
50~59	16.3	17.5	17	77	102	179	16.9	14.4	15.5	75	79	154
60~69	13.8	15.2	14.6	65	89	154	14.2	12.8	13.4	63	70	133
70~79	6.8	7.5	7.6	32	44	76	8.1	10.8	9.6	36	59	95
80~89	2.5	2.6	2.6	12	15	27	2.7	2.6	2.6	12	14	26
90以上	0.2	0.2	0.2	1	1	2	0.2	0.2	0.2	1	1	2
合計	100	100	100	472	584	1056	100	100	100	445	547	992

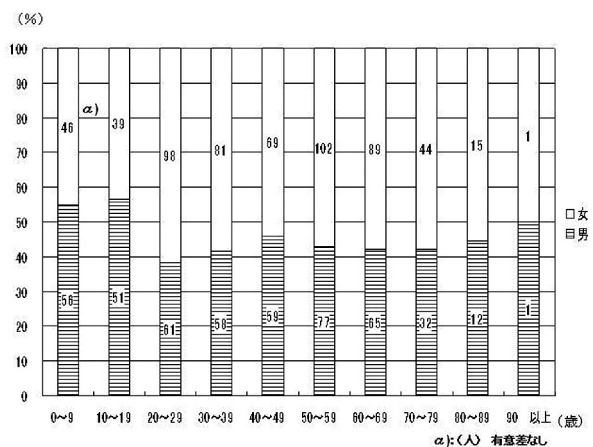


図2 初診患者の年齢階級及び性別 2005年度

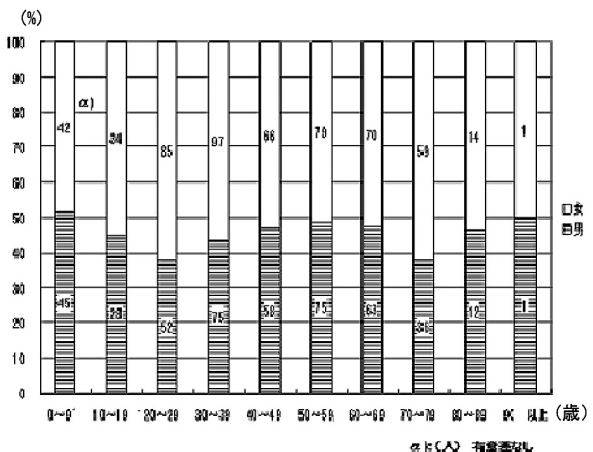


図3 初診患者の年齢階級及び性別 2006年度

が、全体の79%を占め、岐阜市近郊が17%であり、愛知県3%、三重県1%といった隣県からの来院もみられた。

4) 主訴分類

初診来院患者の主訴を以下の7項目に集約し、ついで主訴分類をした。(表2)

- 硬組織疾患 (齲蝕, 歯髄炎, 根尖性歯周炎, 歯冠補綴修復希望)
- 歯周疾患 (歯肉炎, 辺縁性歯周炎, 口臭, 検診)
- 欠損補綴 (義歯, インプラント)
- 顎関節症状
- 歯列不正, 矯正
- その他 (舌, 唾液腺, 軟組織疾患, 顔面)
- 不明

表2 主訴分類

a 硬組織疾患	C ₁ ~C ₃ , 歯髄炎 根尖性歯周炎 知覚過敏 修復物脱離 ウォーキングブリーチ 外傷 (歯冠, 歯根, 骨) 抜歯希望 (C, 根尖性歯周炎, 外傷) 歯冠補綴修復
b 歯周疾患	歯肉炎 歯周炎 口臭 検診(フッ素含む) PMTC 抜歯希望(歯周炎, 智歯周囲炎) オフィスブリーチ ホームブリーチ 義歯 インプラント
c 欠損補綴	
d 顎関節症状	
e 歯列不正	矯正
f その他	舌 唾液腺 軟組織疾患 顔面
g 不明	

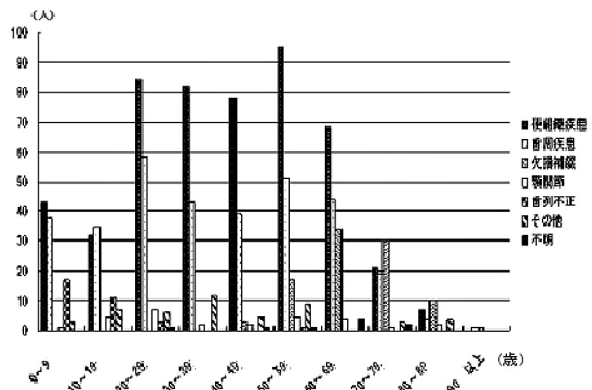


図4 年齢階級別主訴分類 2005年度

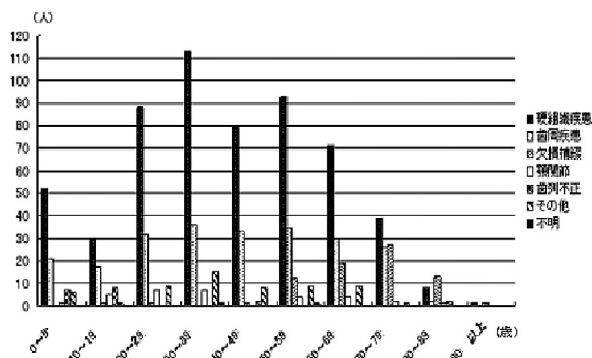


図5 年齢階級別主訴分類 2006年度

主訴分類の結果を図4 (2005年度) および図5 (2006年度) に示す。

硬組織疾患の割合が最も多く、20歳代から60歳代の間で多くみられた。次いで歯周疾患が多く全年代にみられた。また、欠損補綴を主訴に来院するのは60歳代以降でみられた。主訴が顎関節症状の初診患者はほぼ全ての年代にみられた。

5) 年齢階級別疼痛の有無

年齢階級別に初診時の疼痛のあり、なしを示す(図6, 7)。初診時での疼痛の、ありは38.8% (2005年度) 42.0% (2006年度), なしは61.1% (2005年度) 57.9% (2006年度) であった。

初診来院時に、患者の年齢階級により疼痛があるかを独立性の検定で評価した。疼痛の有無は、初診患者の緊急性を示す指標でもあり、口腔疾患の予防やメンテナンスに対するモチベーションを示す指標である。有意差判定では2005年度は0~19歳の疼痛なしが有意で高く、疼痛ありは30~39歳で有意で高かった。2006年度では、0~9歳で疼痛なしが有意に高く、疼痛ありは30~39歳で有意に高かった。

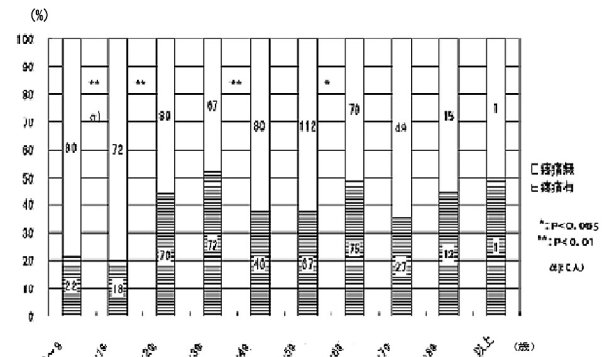


図6 年齢階級別疼痛の有無 2005年度

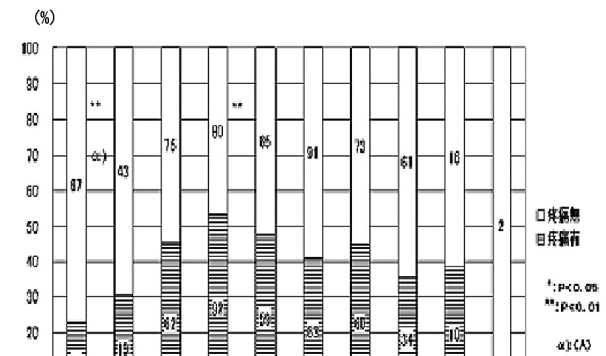


図7 年齢階級別疼痛の有無 2006年度

6) 紹介者の有無

紹介者の有無について調査した結果、紹介者ありは全体の28.4% (2005年度), 30.1% (2006年度)であった。そのうち家族が最も多く57.7% (2005年度)66.2% (2006年度), ついで知人34.7% (2005年度) 29.0% (2006年度)であった。

7) 全身疾患の既往歴について

初診で来院した患者のうち全身疾患を有する人の割合を表3に示す。2005年度で37.8%, 2006年度で40.0%みられた。全身疾患を有する人のうち、①高血圧の割合が最も多く2005年度は21.3%であり、2006年度は29.7%であった。次いで2005年度は②アレルギー疾患が11.8%, 2006年度は②心臓疾患が10.1%, 3番目に③糖尿病が2005年度10.8%, 2006年度9.8%という結果であった。上位3つの疾患が約47%を占めている。

8) 主訴に対する処置

主訴に対する治療に要した期間は、治療を完了した場合、中断した場合、継続中および保険外診療に分類して検討した(図8, 9)。初診日から3か月の間に治療を完了しているものが89.4%であった。また治療を中断する患者は1回で来院しなくなる傾向がみられた。

表3 全身疾患の種類

	2005年度		2006年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
高血圧症	85 (人)	8.0 (%)	118 (人)	11.9 (%)
心臓疾患	26	2.0	40	4.0
血液疾患	6	0.5	6	0.6
貧血	6	0.5	17	1.7
胃腸疾患	13	1.2	27	2.7
腎臓病	8	0.7	3	0.3
肝臓病	15	1.4	17	1.7
糖尿病	43	4.1	39	3.9
甲状腺	9	0.8	14	1.4
骨そしょう症	6	0.5	6	0.6
脳血管障害	12	1.1	32	3.2
アレルギー	47	4.1	32	3.2
膠原病	10	0.9	19	1.9
その他	113	10.7	27	2.7
計測総人数	1056		992	
疾患有り人数	399		397	
1. 高血圧症	21.3	1. 高血圧症	29.7	
2. アレルギー疾患	11.8	2. 心臓疾患	10.1	
3. 糖尿病	10.8	3. 糖尿病	9.8	
4. 心臓疾患	6.5	4. アレルギー疾患	8.1	

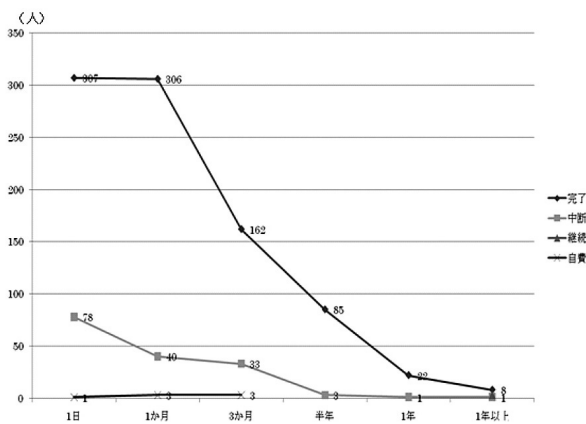


図8 治療期間と経過 2005年度

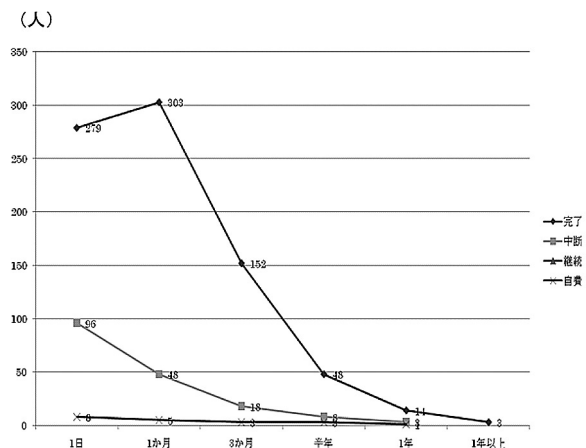


図9 治療期間と経過 2006年度

考 察

朝日大学 PDI 岐阜歯科診療所の立地は、岐阜市基本計画ぎふ躍動プランでは中央部と区画され、岐阜市の玄関として都市商業業務拠点とされている⁴⁾。しかし、隣接する本郷、木之本、本荘および加納地区では2000年から2005年の6年間に総数で約1300人の人口減少がみられた⁵⁾。また本診療所は最寄りのJR岐阜駅からは徒歩20分もかかり、バスによるアクセスも不良である。一方PDI岐阜歯科診療所は50台以上駐車できる十分な駐車場を備え、4車線の交通量の多い県道沿いにある。年間の来院患者数はデータで示した2002年から2006年まで約1000人であり大きな変化はなかった。これは近隣からの来院者は減少しているが、車で来院される患者により増減がなかったように考えられる。今回の調査では、岐阜市からの初診患者が79.0%であり、1997年の報告の78.7%とほぼ同様であった³⁾。

2006年の岐阜市の人口統計では50歳代は6~8%と多くはないが、本診療所では50歳代の通院が最も多く

約16%であった⁶⁾。本診療所が9時～17時の診療時間であることを考えると、比較的昼間に通院しやすい年代であることが伺われた。また岐阜市の人口統計⁶⁾における0～10歳の比率は4.5%であったが、本診療所の同年齢の初診来院患者の比率は9.5%を占めていた。1985年から続く年少人口の減少⁷⁾にも関わらず高い比率で年少患者の来院を認める。これは近隣に小児歯科専門歯科医院がなく、小児歯科専門医が朝日大学歯学部より派遣されていることが、患者の来院動機を強めていると考えられる。

初診患者の年齢階級別の男女比では有意な差は認めないが、いわゆる生産人口では女性の来院患者が多い傾向がみられた。

初診時における疼痛の有無では、2005年および2006年共に年齢階級として0～9歳および30～39歳で有意に高かった。0～9歳では、疼痛がなくとも予防目的で来院されたと考えられる。30～39歳では疼痛ありで来院した初診患者がわずかではあるが50%を超えていた。坂本らの報告⁸⁾でも30歳代で疼痛ありが50.6%で今回の結果と同様であった。

全身疾患有病者の割合は、2005年21.3%、2006年29.7%であり、飯久保らの報告⁹⁾の1981年25%、1996年26%と大きな差はなかった。疾患分布は高血圧、アレルギー疾患、心臓疾患、糖尿病でそれぞれ約50%であり、全身疾患を有する患者の偶発症についても対応の必要性を示している。

結 論

今回、朝日大学 PDI 岐阜歯科診療所の現状と、その問題点を検討するために、2005年度2006年度の初診患者2048人を対象に実態調査を行い、両年を比較し、以下の結果を得た。

1. 月別の初診患者数はほぼ一定した傾向を示した。
2. 初診患者の年齢分布は20～60歳代が多くみられた。

3. 本院の所在する岐阜市の来院が多くみられた。
4. 硬組織疾患を主訴とする割合が多くみられた。
5. 主訴に対する治療期間は3か月ではほぼ完了していた。

文 献

- 1) 山崎裕司, 齊藤尚則, 西田宜弘, 西田淑江, 杉本勘太, 多賀谷正俊, 山田 賢, 近藤亜子, 長谷川信乃, 飯沼光生, 田村康夫. 朝日大学附属病院小児歯科における初診患者の実態調査. 岐阜学誌. 2007; 33: 191-196.
- 2) 朝日大学歯学部自己点検・評価実施委員会編. 朝日大学歯学部自己点検・評価報告書; 1996.
- 3) 山内六男, 柴田俊一, 金 昇孝, 小川雅之. 当歯科診療所に来院した患者の実態調査. 日歯医療管理誌. 2000; 35: 123-128.
- 4) 岐阜市. 岐阜市総合計画ぎふ躍動プラン・21 (概要版); 2008: 1-23.
- 5) 総務省統計局. 平成17年度版国勢調査. 岐阜市, 地区別人口; <http://www.city.gifu.jp/c/40002117/40002117.html> (2005年)
- 6) 岐阜市役所統計分析課. 平成18年度版岐阜市統計書 2. 人口 (3. 年齢別・男女別人口). 岐阜; <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/shosai/00/mokuji.htm> (2010年4月)
- 7) 坂本 亮, 木下正道, 窪田明久, 水口泰代, 柳沢明美, 菊池正樹, 佐藤義隆, 福島 直, 豊間 隆, 宇都 豊, 小林 武, 北村中也, 清水秋雄. 歯科診療所初診患者の受診行動について初診分類項目と診査分類項目の関連性. 日歯医療管理誌. 2003; 38: 228-235.
- 8) 口腔保健協会. 歯科保健関係統計資料 口腔保健・歯科医療の統計. 2010年度版. 東京: 口腔保健協会; 2010: 160.
- 9) 飯久保正弘, 栗原直之, 犬飼 健, 小野寺大, 駒井伸也, 庄司憲明, 菅原由美子, 佐藤しず子, 古内 寿, 阪本真弥, 高橋和裕, 小林 健, 丸茂町子, 笹野隆嗣. 本学歯学部付属病院における新来患者の動向—第2報 全身疾患有病者の臨床統計. 東北大歯誌. 1999; 18: 73-82.